

簡単バックアップの使いかた

簡単バックアップは、パソコンのデータをハードディスクにバックアップするためのソフトウェアです（OSなどのシステムをバックアップすることはできません）。

※本書では、パソコンでご利用になる場合を想定した操作方法を説明しています。タブレットをお使いの場合は、「クリック」を「タップ」と読み替えるなどして、本書をご活用ください。

■対応 OS

Windows 8(64ビット/32ビット)、Windows 7(64ビット/32ビット)、Windows Vista(64ビット/32ビット)、Windows XP、Windows 2000、Windows Me、Windows 98SE、Windows 98

■対応機種

本ソフトウェアでバックアップ先に指定できるハードディスクは以下のとおりです。

- ・ USB や IEEE1394 で接続できる当社製外付けハードディスク
- ・ USB で接続できる当社製 SSD
- ・ 当社製 ATA インターフェイスボードに接続したハードディスク
- ・ 当社製 LAN 接続ハードディスク

■ LAN 接続ハードディスクにバックアップするときの注意

- ウィルスチェックソフトウェア（Norton AntiVirus や Norton Internet Security など）のログに簡単バックアップをインストールしたパソコンや LAN 接続ハードディスクからの接続（パケット）情報が表示されることがあります。

この接続情報は、簡単バックアップと LAN 接続ハードディスク間の定期的な接続ですので、不正なアクセスではありません。

また、簡単バックアップが動作しているパソコンが同じネットワーク上にある場合、簡単バックアップをインストールしていないパソコンにおいても同様のログが表示されることがあります。

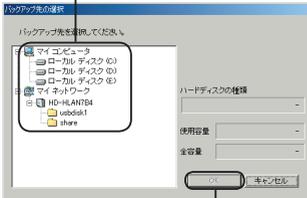
- LAN 接続ハードディスクのアクセス制限やパスワード設定は解除してください。
アクセス制限やパスワード設定がされていると、バックアップできません。

■バックアップの設定

バックアップの設定は以下の手順で行ってください。

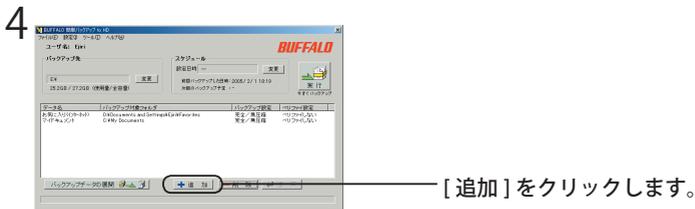
- 1 デスクトップ画面のタスクトレイに常駐している  アイコンをダブルクリックして、簡単バックアップを起動します。



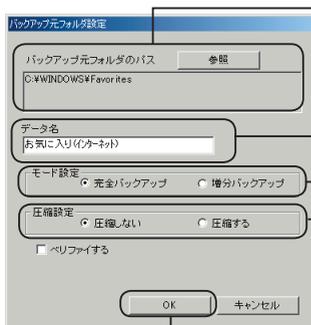
- 3  ① USB/IEEE1394 接続ハードディスク、ATA インターフェースに接続したハードディスクの場合、[マイコンピュータ] (Windows Vista の場合は [コンピュータ]) にあるドライブアイコンを選択します。

LAN 接続ハードディスクの場合、[マイネットワーク (またはネットワークコンピュータ)] にある共有フォルダーを選択します。
※ LAN 接続ハードディスクのアイコンは選択できません。

- ② [OK] をクリックします。



5



① [参照] をクリックし、バックアップしたいパソコンのフォルダを選択します。

② パソコンのデータ名を入力します。

③ バックアップモードを選択します。

- 完全バックアップ
指定したフォルダの全てのファイルをバックアップします。
- 増分バックアップ
前回増分バックアップを行ったときから更新されたファイルや新しく作成したファイルのみバックアップします。初めて増分バックアップを行う場合や、圧縮設定・ベリファイの設定を変更した場合は、指定されたフォルダの全てのデータをバックアップします。

④ バックアップデータを圧縮するか選択します。

- 圧縮しない
圧縮しないで転送することにより、パソコンへの負荷が低減します。
- 圧縮する
圧縮転送により、バックアップデータの容量を最小限に抑えます。LAN 接続ハードディスクをバックアップ先に指定しているときは、圧縮することでネットワークの負荷を最小限に抑えます。

⑤ [OK] をクリックします。

- △注意**
- バックアップ元フォルダのデータ容量が合計2GB以上の場合、圧縮バックアップを行うことはできません（増分バックアップでバックアップする容量が2GB未満の場合でも、バックアップ元フォルダが2GB以上のときは圧縮できません）。
 - 増分バックアップの設定を変更した場合（圧縮設定を変更した場合や、ベリファイをしないからするに設定した場合）、指定されたフォルダの全てファイルをバックアップします。
 - 増分バックアップで圧縮を行っている場合は、バックアップ元フォルダが2GB以上にならないようにしてください。2GB以上になった場合、圧縮設定が変更されるため全てのファイルをバックアップします（2GB以上のフォルダは圧縮できません）。
 - 音楽ファイル、動画ファイルは圧縮効果がないため、無圧縮バックアップすることをおすすめします。
 - バックアップ用メディアにバックアップするときは、バックアップ用メディアの空き容量を越えないようにしてください。バックアップ用メディアの空き容量を越えたときは、バックアップできません（エラーメッセージが表示されます）。

増分バックアップとは

増分バックアップとは、前回バックアップしたときから更新されたファイルや新しく作成したファイルのみをバックアップする方法です。

更新されたデータや新しく作成されたファイルのみをバックアップするため、完全バックアップよりも少ない容量でバックアップすることができます（初めて増分バックアップをするときは、全てのファイルをバックアップします。そのため、完全バックアップを行ったときと容量は変わりません。）。

また、展開を行うときは、全てのファイルを展開するか、更新されたファイルのみ（増分バックアップでバックアップしたデータのみ）展開するかを選択することができます。

6



① [適用] をクリックします。

② [実行] をクリックします。

※スケジュール欄にある [変更] をクリックしスケジュール設定をすると、定期的なバックアップが行われます。

以上でバックアップは完了です。

■バックアップデータの展開

△注意 簡単バックアップでバックアップしたデータの展開は、必ず次の手順で復元してください。エクスプローラーなどで直接バックアップ先のデータを変更したり削除すると簡単バックアップでバックアップデータが正しく表示できなくなります。

1

デスクトップ画面のタスクトレイに常駐している  アイコンをダブルクリックして、簡単バックアップを起動します。

2



[バックアップデータの展開] をクリックします。

3



①バックアップデータを選択します。

※**[+]**をクリックするとバックアップした日時の一覧が表示されます。展開したいバックアップのチェックボックスにチェックを入れてください。

② [展開] をクリックします。

4



① [参照] をクリックし、展開先のパソコンのフォルダーを選択します。

② [実行] をクリックします。

メモ 増分バックアップのデータを展開するときは、「増分バックアップデータの展開設定」で全てのファイルを展開するか、更新ファイルのみを展開するか選択できます。

以上で展開は完了です。

メモ バックアップや展開に失敗したときは、簡単バックアップのメニューから、[ツール]-[ログ情報の参照] をクリックしてください。失敗した原因が表示されます。